

# 寺報

No.685

令和6年9月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

佛と申す事も我等の心の内にを  
はします、譬へば石の中に火あり  
珠の中に財のあるがごとし、我等  
凡夫はまつげのちかきと虚空のと  
をきとは見候事なし。我等が心の内に  
佛をはしましけるを知り候はざり  
けるぞ。

『重須殿女房御返事』



## (解説)

「仏というものは、我々の心の中にあるのです。たとえば、火打ち石の中には見えなくとも火が宿っており、また寶石の中には見えなくとも財産が宿っているようなもののなのです。」

しかし我々は、あまり近過ぎると自分のまつ毛が見えず、また逆に遠過ぎると宇宙の果てが見る事が出来ないものです。

このように、我々は自分の心の中に仏がいる事を知らずに生きているのです。」

日蓮大聖人は、我々の心の中には皆仏性（仏になる種）が備わっているのに、誰もそれに気付かず無駄な日々を送っているのが現状であると説いています。

どうか、我々はこの日蓮大聖人の教えを理解し、納得し、この見えていない仏の種を、花咲かせようではありませんか。

それには、しっかりとした信心を元に、毎月のお守り（霊神符）を着体し、法華経・お題目を唱えていく事が大切なのです。

## 『秋彼岸会』のお知らせ

九月十九日(木)より

二十五日(水)まで

## 【一週間】

②今年度より『秋彼岸会』の法要は、朝六時三十分からの『朝のお勤め』の中で執り行います。

ですから、皆様からご依頼のありましたご先祖様と仏様のご供養は、お勤めの中で一週間ご回向し、読み上げさせて戴きます。

なお、皆様も『朝のお勤め』に参拝し、共に法華經・お題目を唱えられる事も大事ですし、また彼岸中午後五時までの間に、お寺にご自由に参拝されても結構ですので、どうぞお寺に足をお運び下さい。



## お寺からのお知らせ

\*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。

なお、今年度から『朝のお勤め』の中でご回向し、読み上げさせて戴きます。

どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

\*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』・お預かりしていますお骨の前に一週間上がります。

なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けしますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。

また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。【受付中】

日蓮宗  
『寺院参拝バス旅行』のお知らせ

檀信徒の皆様からの要請がありながら、お寺が多忙の為に遅れていました、日蓮宗寺院参拝のバス旅行の日程が決まりましたのでお知らせ致します。

今年度は下北郡・大間町にあります「円融寺」(松尾圭哉住職)を参拝し、ご開帳・総会を開催致します。その後、むつ市の『むつグランドホテル』に会場を移し、昼食と慰労を兼ねました懇親会を行います。

「円融寺」は当山としては、初めての参拝となりますし、また青森県人として、大間まで行かれた方も少ないのではないかと思います。

ですから是非ともこの機会を逃さず、皆様のご参加をお願い致します。

なお、大間町は遠方となりますので、トイレ休憩を充分取りながらのバス日帰り旅行となります。

皆様も、なかなか個人では行けない県内の日蓮宗のお寺を参拝してみませんか。

なお、聖徒団会員以外の皆様のご参加もご自由です。で、どしどしお申込み下さい。

## 旅行日程

日 時..九月三十日(月)

集 合..蓮華寺..午前七時【時間厳守】

バ ス..出 発..午前七時十五分

帰 着..午後六時頃予定

場 所..総 会..円融寺(大間町)

懇親会..『むつグランドホテル』

(入浴施設はありますが、タオルは各自持参の事)

費 用..大人 九、五〇〇円

②ご開帳料、入館料、昼食代、交通費等を含む。

募 集..四十名(受付中)

持 参 品..数珠、聖徒団のタスキ、霊神符【お守り】

## 注意事項

一、円融寺での供養・祈願をご希望の方は、当日の朝に当山で受付ます。

②供養・祈願・・・各五百円  
一、参加者は、必ず霊神符【お守り】を着体してきて下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますのでこの機会にお求め下さい。

\*聖徒団のタスキ・・・三千円(事務所迄)

\*タスキは毎年使用します。

## 最上稲荷様

稲荷という言葉はイネナリ・イネニナルが転化したもので、元々稲の神様であり農業の神様であります。それが転じて、商売繁盛・開運の神となったのです。昔から、キツネを稲荷様のお使い（眷属）としてみたのですが、いつの間にか稲荷様の本体がキツネである間違って信じられてしまったようです。

キツネはその神秘性から、霊獣とみなされ、また春に山から下りてきて、秋に去って行くところから田の神の先触れとされていたので、そこでいつの間にか、稲の神である稲荷様とキツネが結びついていったのではないかと考えられます。

そのキツネの好物が油揚げだという事で、油揚げを使ったお寿司を、その後「イナリ寿司」と呼ぶようになったのです。

日蓮宗の稲荷様は最も位が上なので「最上稲荷」といい、正しくは「最上位経王大菩薩」といいます。

経王とはお経の中の王、つまり法華経の事で、即ち法華経に説かれる御本仏が、菩薩のお姿を借り我々を救済してくれるという意味です。

皆様は俗信に惑わされず、正しい信仰をしましょう。

# 最上稲荷大祭

九月二十二日(日)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という名は字の如く【稲】の神様であり、農業の神様という意味です。それが転じて商売繁盛・家内安全・開運の神様になったのです。



- \* 祈 願 . . . 八百円
- \* 御法楽 . . . 八百円
- \* 御神体御法楽 . 千円

◎それぞれお申込みの方には、最上様の『お札』を差し上げます。  
◎御神酒・お供物も受付けています。

## 檀信徒研修会のお知らせ

☆九月二十八日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

\*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』  
☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間・・午後七時より  
場 所・・小本堂(イス席です)

持参品・・聖典(事務所)・数珠・太鼓(所有の者)

\*月一度の修行ですので、この機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

\*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各の目標に向い頑張って修行して下さい。

## 『提灯』の募集!

当山で『お正月』『鬼子母神大祭』『御会式』に下げます『提灯』(トロー)を募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円ですので、初年度は一万円となります。

## 『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の〈秋彼岸供養〉は、中日の九月二十二日(日)午前十時半より、まず大本堂にて読み上げとご供養をし、その後境内にて再度ご供養致しますので、ご一緒に参拝出来る方は時間までお越し下さい。時間は四十分程です。

## 靈断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。

なお宗旨・宗派は問いません。

☎776-5840

## 『聖徒団会員』の募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の「家内安全」をご祈願致します。

その他、御寶前のお花・皆様にお配りしています、聖徒タイムズ(新聞)・寺報等の援助などに活用しています。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

## 『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に旅行などで不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。(管理費は変わります)

【三席】から【特席】にも上がれます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来て助かります。

◎詳細は事務所まで！

## 九月の行事

## 一日(日)『盛運祈願会』

午後一時より

- ・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



## 十三日(金)『日蓮大聖人のご命日』

午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・日蓮大聖人のご報恩を忘れずに参拝しましょう。

## 十九日(木)～二十五日(水)まで一週間

## 『秋彼岸会』

◎『秋彼岸会』は今年より自由参拝と致します。

## 二十二日(日)『最上稻荷大祭』

午後一時より

二十八日(土)檀信徒研修会『唱題行』午後七時より

## ☆奉仕のお知らせ

## 『秋彼岸会の追膳』

十九日(木)～二十五日(水)まで一週間

◎『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半迄】夕【午後三時～五時迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間迄にご集合下さい。

◎お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞ時間までお出下さい。

## 二十二日(日)『最上稻荷様大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より  
教宣部女性 昼 十二時より

\*テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

◎各役員はご奉仕の他に、二十二日(日)午後一時からの『最上稻荷様大祭』の法要に積極的にご参拝して下さい。  
◎教宣部長・杉淵昌三

ご奉仕しましょう

# 秋 彼 岸 会

九月十九日(木) より  
二十五日(水) まで  
【一週間】

今年度より自由参拝と致します

⑨今年度より『秋彼岸会』は、檀信徒の皆様の自由参拝となりますので、ご注意の上ご参拝下さい。  
なお、ご供養は「朝のお勤め」の中で、一週間ご回向し、読み上げをしますので、ご安心下さい。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位・・・・・・・・800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・三階永代供養堂・・3,500円